

SJクイズ

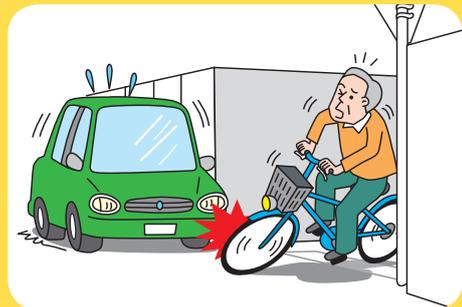
[問題編]



Q1

平成24年中の自転車が第1当事者または第2当事者となった交通事故件数（自転車関連事故）を事故類型別にみると、最も多いのは車両相互の「出会い頭衝突」ですが、その割合は次のうちどれでしょう？

- ①約33% ②約43%
③約53% ④約63%



Q2

自転車乗用中に死亡した高齢者（65歳以上・平成20～24年・2064人）を年齢層別・事故類型別にみると、「出会い頭衝突」の占める割合が最も多い年齢層は次のうちどれでしょう？

- ①65～74歳 ②75～54歳 ③85歳以上

Q3

自転車乗用中に死亡した高齢者（65歳以上・平成20～24年・2064人）の運転免許保有率は次のうちどれでしょう？

- ①約7% ②約17%
③約27% ④約37%

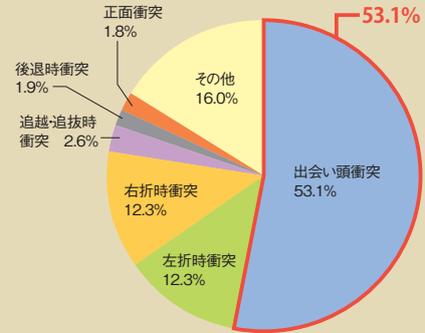
【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736

Q 1 解答 ③約 53%

<解説>

平成 24 年の自転車第 1 当事者または第 2 当事者となった交通事故件数（自転車関連事故・13 万 2048 件）を事故類型別にみると、車両相互の「出会い頭衝突」が 53.1%と最も多く、左折時衝突（12.3%）、右折時衝突（12.3%）と続く。出会い頭事故を防止するためには、一時停止標識のある交差点や見通しの悪い交差点で、必ず止まって右左右の安全確認をしてから交差点に進入することが重要である。一方、ドライバーやライダーは、自転車が一時停止や安全確認をせずに交差点に進入してくることを予測し、徐行や状況によっては一時停止をして、十分な安全確認をしながら走行することが大切である。



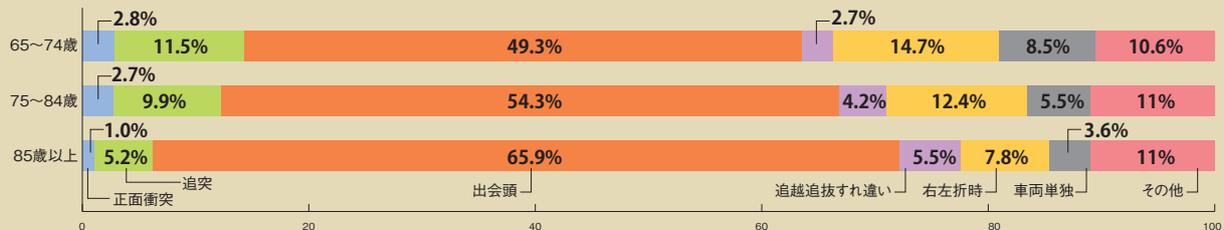
●自転車関連事故の事故類型別交通事故件数（平成 24 年・構成率）
※出典：警察庁資料

Q 2 解答 ③ 85 歳以上

<解説>

自転車乗用中に死亡した 65 歳以上の高齢者（平成 20～24 年・2064 人）を年齢層別・事故類型別にみると、加齢にともなって出会い頭事故の割合が増加しており、85 歳以上では出会い頭事故の占める割合が 65.9%となっている。これは年齢が高くなるほど、一度止まって再度自転車を漕ぎ出すことがおっくうになり、一時停止を怠りがちになるからではないかと考えられる。高齢者でも特に年齢の高い層に一時停止や安全確認の重要性を伝え、実践してもらえるよう啓発していく必要がある。

●自転車乗用中の年齢層別・事故類型別死者構成割合（平成 20～24 年）



※出典：（公財）交通事故総合分析センター資料

Q 3 解答 ②約 17%

<解説>

自転車乗用中に死亡した 65 歳以上の高齢者（平成 20～24 年・2064 人）の運転免許保有率は 17.1%。死者の 8 割以上は運転免許を保有していないことから、交通ルールに対する理解が不十分であったことが事故の要因の 1 つと考えられる。高齢者の自転車事故を防止するためには、運転免許の非保有者に対して交通安全教育を行っていく必要がある。

※出典：（公財）交通事故総合分析センター資料

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736